

令和7年度 第1回 部門長会議(web) 議事録

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

日時 令和7年7月2日(火) 19:30~20:30

場所 ZOOM ミーティング

参加者 森本 剛史、中山 章文、大鹿 均、棚橋 正智、松岡 涼太、浅野 栄太
大澤 稜、加藤 洋平、杉下 毅、中切健太、大村 将希

記録 中切健太

1、理事会報告

・検査と健康展について

12月7日にイオンモール大垣にて開催予定。

9月15日までに各部門の内容・参加人数を報告。

学生参加について担当の澤野先生に検討依頼

・拡大研修会について

11月30日にOKB ふれあい会館にて開催予定

岐阜地区学術委員会(輸血部門)

実行委員長 上野先生(岐阜大学)

拡大研修会においては、目的や対象者が不明瞭、複数部門にまたがるテーマを考えるのに難渋しているという意見がある。

拡大研修会の運営を経験することにより、県学会の運営の練習になっていたという過去の事例もある。

今後の対象者や部門横断的なテーマを実行委員にて決定いただき、学術部はそれに沿ってできる限りの協力を行っていく。

・岐阜県医学検査学会

次年度開催地: 岐阜県

一般演題募集: 全施設に発表を奨励、締切まで約1年、開催県として発表数増加を目指す

・ボードゲームイベント提案

中山先生(岐阜医療科学大学)よりボードゲームイベントの提案があった。

臨床検査わくわくプロジェクトにて作成した、臨床検査技師のキャリアデザインを学んでいくボードゲーム。

一回で約90名が体験できる。

・中部地区医学検査学会

日程 11月1日-2日

開催地 三重県

進捗状況 メインプログラムとシンポジウム講演者は確定

未確定事項 座長割り当てと部門別セッションの詳細スケジュール待ち

中部地区研修会について

微生物 プログラム決定、オンライン掲載済み

病理 プログラム決定、オンライン掲載済み

生化学 12月13-14日 石川県で開催予定

一般検査 企画中 担当者が既存マニュアルや引継ぎプロセスの改善必要性を指摘

生理 企画中 調整の問題で告知が遅れる可能性

遺伝子 他部門(輸血など)との共同研修を模索中 遺伝子は他分野(微生物、病理、血液)と統合されることが多い

2、新人サポート研修会について

- ・新人サポート研修会の名称変更について

現在の「新人サポート研修会」という名称が新卒者向けというイメージが強く、経験者や部署異動者の参加を阻んでいるとの意見が多数あり、名称変更について相談をした。提案された代替名称「キャリアアップサポート研修会」「新人」という文言を削除した名称

名称変更により幅広い層の参加者、2～3年目や中堅層を獲得できるとよい。

今までの当直を始める人へというメッセージが薄れるのが懸念される。

- ・フリートークセッションの改善案

特に学生は固まって行動しがちで、質問や発言をためらう傾向

改善案 事前アンケートなどで質問を収集する。などが提案された。

事前アンケートにすることで質問の自発性が薄れるという意見もあった。

3、組織運営上の課題と提案

- ・部門員募集について

QRコードの作成や案内などを行っているが、応募がない。

岐臨技のWEBサイトの閲覧が少ない？ため情報が届いていない。

解決策

部門研修会などで部門員募集のQRコードを利用してもらい、岐臨技では部門員を募集していることを周知させる。

アンケートでは、部門に活動に興味がない層が多いが、未定や興味はあるが時間や

自信がないという層も存在している。これらの層への、サポートにより部門員の確保ができないか？

・ウェブサイトリニューアル

現在の問題点: サイトが古く、HTTP 使用(セキュリティ懸念)、管理・更新が困難
今後について提案: 学部のみでなく、岐臨技本体のサイトの変更も必要であるか?
広報部長、執行部などとも相談をしながらホームページの作成を検討していく。

・青年部の設立提案


岐臨技内に青年部の設置をしてはどうかとの提案。
若手技師が技師会の活動に参加するきっかけになればよい。
また、将来の理事会や部門長を見つけ出す場にもなるのではないか。
他県の内容などを参考に今後の検討課題となる。

4、その他

定期便に送れる場合は、情報の遅延となるため一斉メールの活用をしていく。
研修会を開催する際に日臨技の助成金を使用できそうな場合は申請をする。

以 上

署名人 _____ 森本 剛史  印

署名人 _____ 大村 将希  印